

【企業名】 株式会社寛文五年堂

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

- ・ 中堅社員の離職
- ・ 募集しても人が集まらない
- ・ 社内文化を変更したい

【本事業で行った取組み／実践内容】

- ・ 社員の会社に対する意識調査
- ・ 今実施している、社内報、サークルミーティングの効果の検証

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

- ・ 過去に行なったエンゲージメントの調査 ウェルビーイングなど、継続する事の重要性を知った。
- ・ ビジョンの浸透、まずは幹部社員から会社の方向性、目標を理解させる事が最も重要
- ・ 社員と経営者とのギャップを感じ、これからの方向性を学んだ。
- ・ 評価制度の必要性

【企業名】 山岡工業株式会社

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

当社では社員の高齢化が進んでいるため、いかに若手人材を確保・教育し事業の成長・発展に繋げていくかが課題になっています。また時間外労働の上限規制の流れの中で業務をいかに効率化するかも課題で、働きやすさと働きがいが両立できるような職場環境作りを模索してきました。以上の課題について講座を通して学びを深め事業運営に役立てたいと考えて応募しました。

【本事業で行った取組み／実践内容】

各講座を受講していく中で、組織開発といった視点で自社の課題を客観的に捉えて掘り下げ、全社員でその課題を克服していくような仕組み作りが必要であると考えようになりました。そこでまず全社員対象にサーベイを実施し、自社の課題を把握することから始めることにしました。実施後は、結果や自由記述の回答に対する返答を可視化して全社員に公表し相互理解を図りました。現在、結果から得られた課題やその対策についてできるところから順に検討、改善を進めているところです。

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

人材戦略という言葉の具体的な意味を明確にすることができました。また人財の価値を引き出す方法についても様々な観点から学ぶことができました。そして何よりも自社の現状を客観的に見つめ直し、良い点や改善が必要な点についてある程度しっかり把握できたことは大きな収穫でした。また講座全般を通して他社の方々から様々な取り組みを教えていただいたり、アドバイスを頂戴したりすることもでき、視野を広げることのできる有効な学びの場になったことに感謝しております。

【企業名】 株式会社TAKASE

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

社員の定着率の低下(特に20代の社員)

【本事業で行った取組み／実践内容】

中期経営計画の策定...組織の目指すべき方向性を定めた。
社員満足度調査の実施...社員の現状を知る仕組みづくり

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

会社のビジョンから経営計画、人事戦略まで方向性が一致していないと社内改革が進まない。
改革を進めるためには、経営者、管理職、一般職まで巻き込む必要がある。

【企業名】 株式会社コニシタイヤ

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

- ・人材育成、人事評価に課題を抱えていた
- ・組織づくりに課題を抱えていた（何をすればいい・マネジメント法）

【本事業で行った取組み／実践内容】

- ・自社の現状分析
- ・サーベイの実施
- ・営業時間を30分短縮（コミュニケーションや社内研修等の時間に活用）

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

- ・会社の成長について、営業戦略に目を向けがちで、人事戦略が不足していたことに気づいた
- ・サーベイなどを通して社員が何を重視しているか理解することの重要性に気づいた

【企業名】 六郷小型貨物自動車運送株式会社

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

- ①管理職同士でのコミュニケーションが足りておらず、計画を立てても先に進まない。また情報共有が出来ていない（報連相）。
- ②大学生採用後の職種選定がなかなか進まず、募集を出せない
- ③ドライバーはコミュニケーションの場がない

【本事業で行った取組み／実践内容】 ※上記にあげた課題②に関しては今回取組みは行っていません。

- ①営業会議をスタートさせ、情報共有の場とコミュニケーションの場を実現
- ②thank youメッセージの実施とコミュニケーションの場を提供するために年間計画を立てた
- ③現場とのズレを知り、職場環境改善を図るためにクイックサーベイを実施

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

- ・態度や話し方で周りに与える印象が変わる事を実践的に学ぶことが出来た
- ・実践している事が「つもり」になっていることに気付けた
- ・自分たちに合った計画の立て方、目標設定の仕方を学ぶことが出来た
- ・情報共有や課題への取組みは周りを巻き込んで進めることが大切だと実感した（営業会議）

【企業名】 株式会社稲庭うどん小川

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

自社ではより風通しのよい職場づくりを目指しており、そのために工場分散は大きなボトルネックとなっています。例えば、意思疎通や労務管理・在庫管理など。

【本事業で行った取組み／実践内容】

12月に、第1回目のQCグループ活動を行い、結果として、社員のエンゲージメントの高さ・ものづくりへの誇り・リーダーシップへの信頼・一致団結の社風が明らかとなり、なにものにも替え難い、経営資源の強みであることを認識できました。

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

業種を超えて、それぞれが抱えている悩みなどを知ることができ、自社を客観視することができるようになりました。回を追うごとに講座内容を自社にブレークダウンすることができるようになり、オフ・ザ・ジョブトレーニングの有効性を知ることができました。今後は社員のこうした課題解決能力に加え、課題発見能力を高めること、自社の成長、社員の待遇改善に活かすため、課題策定自体を徐々に社員に移譲していくことを想定しています。

【企業名】 社会福祉法人ひらか福祉会

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

- ・ 幹部職員との価値観共有ができておらず職場環境整備や業績伸び悩み
- ・ そもそも組織として体制が整っていない
- ・ 人事考課制度の形骸化

【本事業で行った取組み／実践内容】

- ・ 幹部会議等でチェックインを導入した
- ・ 人事考課制度及び給与規程の見直しを令和7年度に行う計画を立てた

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

- ・ 経営者自らの気持ちの変化、現状組織の受入れ
- ・ 個別コンサルのお陰で新たな運営方針となる「プライスレス接客」を生み出した
- ・ 他業種の方々と触れ合う事で、色々な考え方の違いを学ぶことができた

【企業名】 ホームテック株式会社

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

メンバーの成長支援・勇気づけ・業務推進
若い社員の早期退職が多く、定着率が低い。

【本事業で行った取り組み／実践内容】

面談時に1on1実施：1on1の型をつくり、チェックインを実施することとした。

「情報発信委員会」「人材育成委員会」「働きがい委員会」を発足。2027年までにそれぞれのテーマで活動を進めていくことにした。

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

面談時の聞き手・話し手の対応の方法から特に若い社員の成長支援につなげていく取り組み。

チェックインを活用し、面談時に緊張感を緩和し面談をスムーズに進めることができた。

様々な業種の皆さんとディスカッションし、また違う目線でアドバイスをいただくことで、新しい意見を社内に持ち帰ることができた。

【企業名】 株式会社ステージ

Stepup
2024

【応募動機・本事業参加前に抱えていた課題】

- ・社員が働く事に「幸せ」や「成長」を実感できているのかどうか確信を持てなかった。
- ・コミュニケーションの質と量。次に繋がらない場当たりの面談のあり方を見直したかった。
- ・事業所間の相互理解がなく、会社の強みである総合力を実感できなかった。
- ・成長と評価を繋ぐ仕組みがなく、経営者とスタッフ間の信頼関係作りの壁を感じていた。

【本事業で行った取組み／実践内容】

- ・10月の経営方針発表会で「幸せを実感できる会社を皆で作りたい。」と宣言＆協力養成した。
- ・成長支援型人事評価システムの学びと導入。紐づく「成長支援シート」をベースにした面談開始。
- ・プロジェクトチーム2つ（「動画作成チーム」「6SSチーム」）を設置。事業所間の交流が出来た。
- ・若手社員交流会後に面談。個々の思いが成長に繋がる「具体的なステップ」を明確にした。
- ・「ありがとうカード」をはじめた。・サーベイを実施した。

【本事業で得られた成果・気づき・学び】

- ・「人材の価値を最大限に引き出すにはエンゲージメントが鍵」「働きやすさと働き甲斐」。
- ・漠然としていた価値観を、志水先生の講演で言語化していただいた事。
- ・専門家派遣で、個別に小松先生に漠然とした思いや雑多な課題を整理していただく中で、人事こそが経営のキモである事を再確認できた。
- ・自分の気づきの深さによって、同じ言葉を使っても、相手への伝導の質と量が違うという事に気付いた。
- ・「やり方」ではなく「あり方」を刻む事が出来たと感じています。御縁の不思議さ、かけがえのなさに、心から感謝しております。ありがとうございました。